令和5年度第75回栃木県中学校総合体育大会ソフトボール大会要項

1　主　催　　栃木県中学校体育連盟

2　主　管　　栃木県中体連ソフトボール専門部、栃木県ソフトボール協会

3　後　援　　下野新聞社

4　会　期　　令和5年7月7日(金)　～　9日(日)　予備日10日(月)

5　会　場　　大田原グリーンパークA～D球場

6　参加校数　　各地区から選出された19チーム+前年度優勝校

7　参加資格　　（1）栃木県中学校体育連盟の学校に在学し、当該中学校または拠点校に設置されている部活動に入部している生徒で、校長が出場を承認した生徒であること。
（2）参加する生徒は、学齢、修業年限が中学校と一致していること。
（3）合同チームの大会参加については、「栃木県中学校体育連盟合同チーム参加規定」により、それぞれの校長及び所属する各地区中学校体育連盟が承認した場合に限る。
（4）県大会に出場する選手は地区予選に登録した者とする。
（5）地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加資格については別紙「栃木県中学校体育大会ソフトボール大会への地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加について」に定める。

8　チーム編成　本大会に出場するチームの編成は次の通りとする。
地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)については別に定める。
⑴引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の合計21名以内とする。
但し引率責任者・監督は，当該校の教員・部活動指導員・校長の承認を得た外部指導者とする。
⑵コーチは当該校の教職員または外部指導者とする。
⑶監督30番、コーチ31番、32番、主将10番の背番号をつけたユニフォームを着用すること。
⑷本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ・暴言等により任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。

9　競技方法　　20チームによるトーナメント方式

10　競技規則　　2023年度(財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールに準ずる。
ただし、本大会規定を優先する。

11　組合せ　　代表者会議において抽選によって決定する。
【代表者会議】⑴期　日　令和5年6月29日(木)　午後3時00分
⑵場　所　栃木県教育会館　中会議室
⑶出席者　各地区専門部長、県大会出場チームを含め各チーム1名まで

12　表　　彰　　優勝、準優勝、第3位チームを表彰する。優勝チームには優勝旗を授与する。

13　使用球　　（財）日本ソフトボール協会公認認定球（3号球）を使用

14　開会式　　コロナウィルス感染症防止の観点から実施しない。

15　大会規定　（1）本大会の優勝チームを関東中学校ソフトボール大会本県第１代表とし、準優勝チームを第２代表とする。また、本大会の第3位のチームを全日本中学生ソフトボール大会の本県代表とする。

（2）ベンチは組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。

（3）打順票を前試合の４回終了後に各球場バックネット裏へ４部提出し、攻守の決定をする。

（4）ベンチ入場者数は引率責任者１名、監督１名、コーチ１名、選手１８名の計２１名以内とする。

（5）フィールディングは後攻チームより5分以内とする。（ベンチ入場者で行う）

（6）外部指導者(コーチ)は、校長の認めた外部指導者とし、外部指導者(コーチ)は３１番の背番号をつけ、必ず代表者会議までに登録をする。

（7）外部指導者(コーチ)の任務は以下の通りとする。

・試合前のフィールディングをすることができる。

・ベンチ内で選手に指示を与えたり、サインを出すことができる。

・審判の割り当てにより、教職員にかわって塁審にあたることができる。

・選手交代、打ち合わせ、抗議などは認めない。

（8）コールドゲームは降雨の場合５回以降得点差とする。得点差の場合は、３回終了時１５点差、４回終了時１０点差、５回以降７点差とする。

降雨、日没などによってコールドゲームが成立するイニングまで進行できない場合サスペンデッドゲームとし、予定を一日遅らせて試合を行う。

その際、審判については前日と同じとは限らない。

（9）審判の割り当ては責任をもって当たる。（塁審を行う。球審は協会公認審判員が行う。）

（10）打者、走者、捕手、ランナーコーチはヘルメットを着用する。

（11）コーチャーズボックスに立てるのは選手のみとする。

（12）雨天の際は順延になるが、会場を変更することがある。

（13）選手によるタイムは３０秒以内とし、各回１回を原則とする。ただしこの選手だけによるタイムは作戦タイムとはしないが、相手ベンチは選手を集めて指示をすることができる。

（14）投手のセット以後、球種、コース等など投手がスムーズに投球動作を行うのを妨げるような発声はしない。（応援も差し控える。）

（15）試合終了後に当該試合に出場したチームはグランド整備を行う。

（16）検定マークがないバットは使用できない。

（17）本大会における参加者の傷害等は、「日本体育・学校健康センター法」の適用となる。

（18）フィールディング中は、自チームベンチで待機し、応援等はしないこととする。

16 安全対策　大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃木県中学校体育連盟「危機管理マニュアル及びEAPシート」に則り、適切に対応する。また、新型コロナウイルス感染拡大予防に関しては、栃木県中学校体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、感染予防対策を講じる。

17 コロナウイルス感染症予防対策（ソフトボール専門部）（別紙）

コロナウイルス感染症予防については別紙のガイドラインに沿って行う。

＊雨天時の問い合わせは、下記の通りとする。（ただし、5時30分以降）

競技委員長　後藤憲一郎（携帯090-7476-5182　那　須　中　0287-78-0520）

競技副委員長　相羽克隼　（携帯080-5069-1883　　桑　　中　0285-22-0187）

強化委員長　渋谷　聖　（携帯090-7178-5743　西那須野中　0287-36-0146）

令和5年度　栃木県中学校新人体育大会ソフトボール大会要項

1　主　催　　栃木県中学校体育連盟

2　主　管　　栃木県中体連ソフトボール専門部・栃木県ソフトボール協会

3　後　援　　下野新聞社

4　会　期　　令和5年10月13日(金) 14日(土)　予備日16日(月)

5　会　場　　柳田緑地公園①～④球場

6　参加校数　各地区から選出された16チーム（前年度優勝校枠は設けない）

7　参加資格　（1）栃木県中学校体育連盟の学校に在学し、当該中学校または拠点校に設置されている部活動に入部している生徒で、校長が出場を承認した生徒であること。
（2）参加する生徒は、学齢、修業年限が中学校と一致していること。
（3）合同チームの大会参加については、「栃木県中学校体育連盟合同チーム参加規定」により、それぞれの校長及び所属する各地区中学校体育連盟が承認した場合に限る。
（4） 県大会に出場する選手は地区予選に登録した者とする。
（5）地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加資格については別紙「栃木県中学校体育大会ソフトボール大会への地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加について」に定める。

8　チーム編成　本大会に出場するチームの編成は次の通りとする。
地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)については別に定める。
⑴引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の合計21名以内とする。
但し引率責任者・監督は，当該校の教員・部活動指導員・校長の承認を得た外部指導者とする。
⑵コーチは当該校の教職員または外部指導者とする。
⑶監督30番、コーチ31番、32番、主将10番の背番号をつけたユニフォームを着用すること。
⑷本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ・暴言等により任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。

9　競技方法　16チームによるトーナメント方式

10　競技規則　2023年度(財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールに準ずる。
ただし，本大会規定を優先する。

11　組合せ　代表者会議において抽選によって決定する。
【代表者会議】⑴期　日　令和5年10月5日(木)　午後3時00分
⑵場　所　栃木県教育会館　小会議室
⑶出席者　各地区専門部長、県大会出場チームを含め各チーム1名まで

12　表　彰　優勝、準優勝、第3位チームを表彰する。優勝チームには優勝旗を授与する。

13　使用球　（財）日本ソフトボール協会公認認定球（3号球）を使用

14　開会式　コロナウィルス感染症防止の観点から実施しない。

15　大会規定　(1)本大会の優勝校を関東中学生選抜ソフトボール大会の本県代表とする。
(2)ベンチは組合わせ番号の若い方を一塁側とする。
(3)打順票を前試合の4回終了後に各球場バックネット裏へ4部提出し、攻守の決定をする。
(4)ベンチ入場者数は引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の計21名以内とする。
(5)フィールディングは後攻チームより5分以内とする。(ベンチ入場者で行う)
(6)外部指導者(コーチ)は、校長の認めた外部指導者とし、外部指導者(コーチ)は31番の背番号をつけ、必ず代表者会議までに登録をする。
(7)外部指導者(コーチ)の任務は以下の通りとする。
・試合前のフィールディングをすることができる。
・ベンチ内で選手に指示を与えたり、サインを出すことができる。
・審判の割り当てにより、教職員にかわって塁審にあたることができる。
・選手交代、打ち合わせ、抗議などは認めない。
(8)コールドゲームは降雨の場合5回以降得点差とする。得点差の場合は、3回終了時15点差、4回終了時10点差、5回以降7点差とする。
降雨、日没などによってコールドゲームが成立するイニングまで進行できない場合サスペンデッドゲームとし、予定を一日遅らせて試合を行う。
その際、審判については前日と同じとは限らない。
(9)審判の割り当ては責任をもって当たる。(塁審を行う。球審は協会公認審判員が行う。)
(10)打者、走者、捕手、ランナーコーチャーはヘルメットを着用する。
(11)コーチャーズボックスに立てるのは選手のみとする。
(12)雨天の際は順延になるが、会場を変更することがある。
(13) 選手によるタイムは30秒以内とし、各回1回を原則とする。ただしこの選手だけによるタイムは作戦タイムとはしないが、相手ベンチは選手を集めて指示をすることができる。
(14)投手のセット以後、球種、コース等など投手がスムーズに投球動作を行うのを妨げるような発声はしない。(応援も差し控える。)
(15) 試合終了後に当該試合に出場したチームはグランド整備を行う。
(16) 検定マークがないバットは使用できない。
(17) 本大会における参加者の傷害等は、「日本体育・学校健康センター法」の適用となる。
(18) フィールディング中は、自チームベンチで待機し、応援等はしないこととする。

16 安全対策　大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃木県中学校体育連盟「危機管理マニュアル及びEAPシート」に則り、適切に対応する。また、新型コロナウイルス感染拡大予防に関しては、栃木県中学校体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、感染予防対策を講じる。

17 コロナウイルス感染症予防対策(ソフトボール専門部)(別紙)
コロナウイルス感染症予防については別紙のガイドラインに沿って行う。

＊雨天時の問い合わせは、下記の通りとする。(ただし、5時30分以降)
競技委員長　後藤憲一郎(携帯090-7476-5182　那須中　0287-78-0520)
競技副委員長　相羽 克隼(携帯080-5069-1883　桑中　0285-22-0187)
強化委員長　渋谷　聖(携帯090-7178-5743　西那須野中　0287-36-0146)

栃木県中学校体育大会ソフトボール大会への地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加について
（ソフトボール専門部細則）

栃木県中学校体育連盟ソフトボール専門部

（１）参加資格等の特例について

栃木県中学校体育大会ソフトボール大会に参加する地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)は、「栃木県中学校体育連盟主催大会への地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加資格等の特例（令和５年４月１日付栃木県中学校体育連盟発出)」及び以下の内容を満たすものとする。

①栃木県中学校体育連盟及び栃木県ソフトボール協会のチーム・個人に登録していることとする。

②地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していないものであることとする。

③地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）は、各地区大会からの出場とする。ただし、登録市町の実情に応じて、県大会からの参加も検討する。県大会における地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の出場枠数や出場チーム決定方法については、栃木県中体連ソフトボール専門部会で協議し、栃木県中体連ソフトボール専門部長が決定する。

④地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）は、大会に参加しようとする地区において、年度頭初から１年以上の活動実績があるものとする。ただし、「学校部活動から移行した地域部活動」や「休日と平日の扱いが異なるチーム」等については、別に定める。

⑤「学校部活動から移行した地域部活動」や「休日と平日の扱いが異なるチーム」等については、当面の間、その実施母体や活動状況を県中体連ソフトボール専門部長が判断し、学校部活動として扱うことができるものとする。その場合は、構成が中体連の学校部活動の合同規程もしくは拠点校部活動の要件（令和５年２月17日付日本中体連発出）を満たしており、学校の教員・部活動指導員等の指導の元での活動であることを条件とする。

⑥地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）に所属している選手が、在籍の学校部活動のチームの選手として出場する際には、予選会から当該チームのみの出場であることを、各予選会のプログラムや参加申込み書等所属のわかるものを提出し、開催実行委員会が確認できれば参加を認める。

（２）地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)が、県中体連主催大会に参加する場合の手続きについて

①各様式を県中体連HPよりダウンロードし、当該年度の４月１日から４月末日までに、県中体連に対し、参加登録の申請手続きを行うこと。【様式１・２】

※新人大会に向けた選手の追加登録申請は、７月１日から７月31日までとする。

②申請後、参加登録を認定された場合、当該スポーツ団体等へ認定通知を送付する。また、手続きに

必要な【様式３・４】をメールで送付する。当該スポーツ団体等は【様式３・４】を作成し、５月末日までに選手が所属する中学校長に提出すること。【様式４】については保護者に作成依頼をし回収すること。登録期間は大会参加登録日から翌年３月末日までとする。

③６月末日までに栃木県ソフトボール協会にチームおよび個人登録をすること。登録方法は協会に問い合わせること。

④申請完了後、地区または県ソフトボール専門部から大会参加に関わる手続きについて連絡する。それに従って大会参加手続きを行うこと。大会参加の方法についてもその際伝達する。また、その際【様式６】を併せて提出すること。

⑤大会参加手続きの際、分担金（県中体連主催大会参加登録費）として、1,200 円を県中体連に納入すること。

（３）県中体連主催大会に参加した場合に守るべき条件について

①県中体連主催大会実施要項及びソフトボール専門部競技規則を遵守するとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

②大会参加にあたって、代表者・指導者が引率するとともに、万一事故発生に備え、傷害保険に加入するなど万全の事故対策を立てておくこと。

③地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の監督・コーチ・引率者等は、同一大会で他チームの監督・コーチ・引率者等を兼務することはできない。

④大会参加に要する経費は、当該地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)が負担すること。

⑤出場は各地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)につき１チームとする。(複数のチームの参加はできない。)

⑥地域スポーツ団体等が大会参加登録する際には、登録用紙に団体代表者の登録市町名を記入する。登録市町は、原則変更することはできない。

（４）チーム編成について

①引率責任者１名、監督１名、コーチ１名、選手１８名の合計２１名以内とし、引率責任者、監督、コーチは地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)登録申請書【様式１】に登録されているものとする。

②監督３０番、コーチ３１番、３２番、主将１０番の背番号をつけたユニフォームを着用すること。

（５）県中体連主催大会に参加を認めない場合

県中体連申請に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。